

大月市賑わいづくり社会実験 実施計画書（案）

事業の名称	B-3 “大ツキ” 軽トラック市事業
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽トラックの機動性を活用し、これまでとは違う商品・サービス等の提供を通して新たな商店街機能(買い物機能・コミュニティ機能)の発見と、地域経済活性化(消費拡大、雇用創出、収益確保)の方向性を探る。 ● 軽トラック市を通して商品や資源を発掘する。 ● 軽トラック市の開催から得られる情報をもとに、商店街の経営改革を進める。 ● 軽トラック市に来た人と商店とが、交流することにより以後の集客・販売促進に繋げ、商店街や中心市街地の活性化を図る。 ● 軽トラック市事業が商店街の活性化にフィードバックできるか、事業を通して“大ツキ”軽トラック市事業の効果や将来の方向性を探る。
事業責任者	小俣 孝
対 象	来街者 (近隣住民 50%、市内住民 30%、観光客 20%)
期 間	平成 23 年 9~10 月(各月の土曜日のうち 1 回、計 2 回開催)
実施場所	甲州街道(大月駅前交差点から市役所前の 400m 区間)及び市道
事業の意義	機動性を生かした軽トラック市の開催は、商店街再生の手掛かりを得る手段として実施する意義は大きい。また、商店街でのイベントが増えることは利用者・事業者双方にとって交流の機会が増えることであり、商店街と地域住民の新たな交流機会の増加として意義はある。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 甲州街道における大月駅前交差点から大月市役所前の約 400m 区間(軽トラ約 50 台)及び中心市街地の市道を歩行者天国として、軽トラックの模擬店による市場を開催する。 2. 開催期間は、平成 23 年 9 月・10 月の 2 回とし、国道 20 号及び市道で各 1 回実施し、集客及び出店の状況を調べる。実施場所及び時期は関係機関と協議を継続しながら進める。 3. 運営組織は大月商店街協同組合を中心として設立するプロジェクト組織が行う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 地域資源の発掘 「おつけだんご」のように家庭では一般的だが商品化されていないものを掘起し商品化する。 ② 使用環境の整備 交通規制対応、駐車場の確保、道路清掃、関係者への協力要請など

	<p>道路等使用環境を整える。</p> <p>③ 集客プロモーション 宣伝・広告をはじめ、市民・各種団体等への働きかけ、協力団体への呼び掛け等を行う。</p> <p>④ 販売支援 出店者に対する軽トラックの貸し出しや看板の提供、展示方法のアドバイス等の販売支援を行う。</p> <p>⑤ 共同事業 “大ツキ” イベント、保育コーナー、交流広場等の運営を手がける。</p> <p>4. 軽トラック市に来た人を、いかに商店街個店に誘導するかを検討する。</p> <p>5. 出店者は、市内の農業・工芸品等生産者、飲食店、SOHO者等に加え、商店街個店も出店。また、本事業への協賛者及び短大生や小・中・高校生のチャレンジ出店も計画する。</p>
<p>準備作業の概要</p>	<p>1. 事業の確認 実施する事業内容、日時、参加の条件、用具の準備等の確認と作業担当者を決定する。</p> <p>2. 先進地の事例調査 先進地の事例を調査し、今回のイベントに反映させる。</p> <p>3. 交通規制申請 公道の交通規制を行うためその対応を行うと共に、関係機関や団体への協力要請を行う。併せて交通規制に伴う、う回路の確保やイベント来場者に対する駐車場計画を行う。</p> <p>4. 出店者募集要項の作成 出店者を募集するためのルールを検討し、募集要項としてまとめる。</p> <p>5. 出店者の募集 市広報や市・観光協会のHP、チラシ等により出店者の募集を行う。</p> <p>6. 用具の手配 のぼり旗、う回路表示板、来場者駐車場案内板等の手配を行う。また、交流広場、保育コーナーを開設するための場所や機材の手配を行う。</p> <p>7. 広報活動 事業の実施をいかにして知らしめるかが事業の成功を左右する。広報の道具として市広報や市・観光協会のHPを活用するため、事前に周知内容を示した原稿を作成する。また、専用ホームページの立ち上げ等も検討する。</p> <p>8. アンケート調査 アンケート調査を実施するための要員の確保と、調査実施時の留意事項等の説明を行う。</p>

	※スケジュールは工程表を参照。
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 甲州街道で実施の軽トラック市の経済的目的を達成する…1 回当り軽トラック 50 台、集客数 2 千人、売上 200 万円(1 千円×2 千人) 2. 地域商品を発掘し、持続可能な商店街ビジネスモデルを構築する。…人的資源 50 件として開業意欲者 10 人、個性ある商材 50 件、顧客満足度 150%アップ。
評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商店街への集客・・・軽トラック市に来た人の、個店への利用者数と売上 2. 経済的評価・・・①軽トラック市での集客数、全体売上、客単価。②後日の商店街における客数、売上等の変化。(ともに市内と市外の顧客数別数値) 3. イノベーション評価・・・①軽トラックの出店者数(希望者も含む)、②地域顧客の満足度、③空店舗利用数(見込み)、④新商品開発の量と質
作成資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽トラック市参加募集要項 2. 交通規制申請資料 3. う回路、駐車場案内看板用原稿 4. 広報用原稿